

フジイコーポレーションのお仕事 5

学生時代は石巻港で夕食を調達し、軟式野球で身体を鍛え、ロボット研究会で頭を鍛えてました。



企画 製作 / フジイコーポレーション(株)
作画 / 犬嶋泰男

そして新潟で米の歴史と機械を調べるうちにフジイコーポレーションの名前が出てきます

稲を脱穀するハーベスタの他、新潟の豪雪を
除雪できるスノーロータリーを作っている
メーカーで慶応元年、まさに幕末から続く
歴史ある会社である事がわかり更に興味が
出てきます。

就職は故郷である新潟県を志望してしました。地元、長岡市は幕末の長岡藩士「小林寅三郎」が「米百俵の精神」を説き歴史に残る郷土として、記憶に残っていたこともあるかもしれません。

一部、昭和初期の建物をそのまま使ってますが、ここに最新の設備を導入した他にはない新工場が近々建設されます。

実はこれから七年後でした

フジイコーポレーション(株)
社長 藤井大介

会社説明会では社長から直に今後の方針と新社屋の最新性について熱く説明を受けて、将来性を強く感じ入社を決意を固めます。

就活生 中松 豊(仮)



1990年頃の金型設計室です

思いが通り無事入社を果たします。配属は「マシナリーセンター」で、プレス金型の製造と販売を行う部署です。一年目は工場での機械加工と金型の組立の研修



研修生 中松 豊(仮)

7年目の2003年には神奈川県のプレス工業より仕事をいただき順送型の設計を習得します。



弊社のプレスラインをフル活用しました



四年目の二〇〇〇年に四ヶ月の長期社外研修を受けます。研修先は愛知県刈谷市の三陽製作所です。各自動車メーカーに部品を供給している板金加工の老舗で、金型の組立やメンテナンスをしながら金型と営業のノウハウを習得しました。現在も交流は続いています。



対向液圧プレス

通常プレスは二個の対(凹凸)になった金型で鉄板を挟みプレスして成形しますが片側の金型の代わりに水で押す事により一つの金型でプレス(絞り)成形できる機械を導入しました **日本で2社だけ!**

そこでもものづくりを多品種少量生産向けにシフトし、金型を極力作らないプレス部品の加工法「ダイ(型)レス(不要)プレス技術」を開発します。プレス(絞り)成形の一部のみ金型を使い、他の工程は全てレーザー加工による縁取りに置き換えます。



十年目の二〇〇六年にマシナリーセンターはプレス事業部に編入され「プレス・金型事業部」になります。金型の販売よりプレス事業部で使用する金型に注力します。



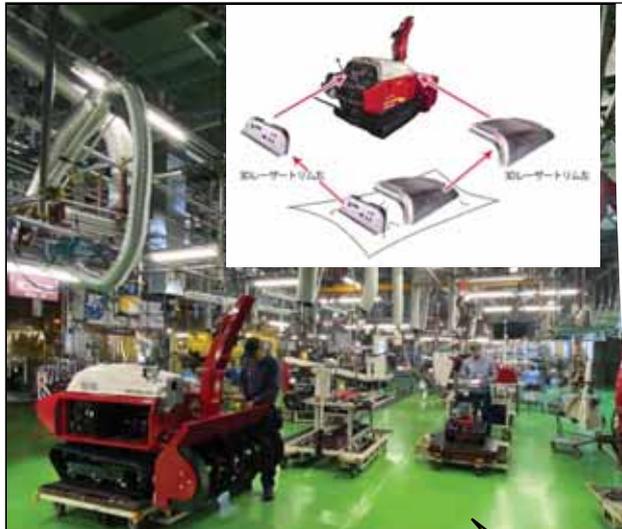

当時ワーゲンやフォードの金型も受注してました



金型設計士 中松 豊(仮)

名古屋の修業の頃からこれからの金型は自前で済ませて売りの金型はダメになると教わりそのとおりになってきました。

金型を極力作らないプレス部品の加工法として「**ドロミテ成形法**」も開発します。これは一つの金型で複数の部品を同時にプレス成形する方法で凹凸が増える為、緻密な設計が必要になります。



同一機械の各部品を同時に成形するので一台流しする弊社の多品種少量専用組立ラインにベストマッチしてるよ。

ドロミテの由来は弊社ホームページをご覧ください <https://www.e-fujii.co.jp>

金型をどんどん作って専門家を目指したのに減らす専門家になろうとしているぞ.....複雑!

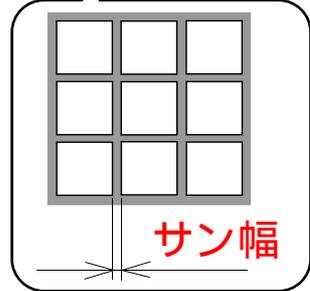
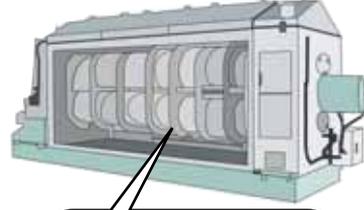
十二年目の二〇〇八年「**ダイレスプレス事業**」(DLP)に改称します。対向液圧プレスを使う「**アクア成形法**」と「**ドロミテ成形法**」を向軸に金型レスでプレス商品がほしいニーズに答えられる組織が誕生しました。



3DCADとCAM使ってるよ

技術グループ係長 中松豊

十三年目の二〇〇九年K社の下水・排水処理向け『**高効率型二軸スクリーンプレス脱水機**』の開発に参加します。そこでスクリーン羽根から汚泥を濾し出す濾過網の加工に着手します。

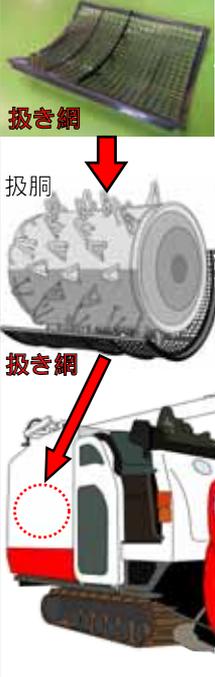


サン幅

材厚以下のサン幅の連続打抜き加工が出来るのは日本唯一フジイだけです!

単位面積当たりの穴数に対する網面積が少なくするほど効率があがるので**材厚以下のサン幅**の連続打抜きが日本で唯一できるフジイの技術で高効率化が達成できました。

この開口面積が大きい網枠の加工は弊社で開発した**脱穀機**の技術で、弊社が受注するI社やK社のコンバインの**扱き網**がこの加工を使って脱穀効率を向上させてます。通常の扱き網は本体が焼き網と同じ芯線を編んだ構造ですが一枚の鉄板から打抜きで穴開けした網は凹凸が全く無く開口面積・強度・耐久性も勝るので脱穀効率に明らか差が出ています



この技術はフジイの除雪機・高所作業機・草刈機にふんだんに盛り込まれています

フジイしかできない技術はまだまだあるよ



日本のすべてのコンバインの扱き網をフジイ製にしてスクリーンプレス脱水機で世界中の汚水をきれいにするぞ!

DLP事業部課長 中松豊(仮)



To Be Continued